



「学習と部活動の両立」に取り組み、大高高校の様子を伝聞らせします。

大高インフォメーション

ホップステップ

JUMP!<http://www.news.ed.jp/omura-h/>

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原1-591 TEL.0957/52/2660

保護者の方へ メールメイトにご登録ください。

平成30年度全国高等学校総合体育大会 (2018 彩る感動 東海総体)**ソフトテニス部 女子団体 第5位****第65回 NHK杯全国放送コンテスト アナウンス部門 入選****第42回 全国高等学校総合文化大会 文化連盟賞****ソフトテニス部 北里 朱里
(桜が原中出身)**

3年間の軌跡として、毎年インターハイに参戦していましたが、試合中は逃げずに向かっていくことだけを考えてプレーしました。全国5位という結果が出来たのはチームが1つになって戦うことができたのと、たくさんの方の支えや応援があったからだと思っています。本当にありがとうございました。

**放送部 1年 山口 雄大 (千綿中出身)**

NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)に参加してまさか、行けるとは思っていなかったNコーン全国大会。アナウンス部門で全国大会に進出することができました。そこで、何かもがく新鮮で驚きの連続でした。大会では準決勝まで進むことができ、先輩方、同級生、そして何より顧問の木村先生に対する感謝の気持ちでいっぱいになりました。今後も練習を重ね、全国優勝できるように頑張りたいと思います。

**大高生の視線は未来へ****長崎県立大村高等学校
校長 鶴田勝也**

今年の夏は、異常とも言えるくらい暑い日々が続きましたが、9月になってその暑さも和らぎ、追いつめる秋空のもと爽やかな風が吹く季節となりました。

この夏は、大高生も暑さに負けず、熱い活躍を見せてくれました。この表紙に掲げていますように、ソフトテニス部女子が先のインターハイで創部以来初の全国5位という快挙を成し遂げてくれました。本校の決して恵まれてはいない隣接環境の中で基本を大切にした地道な練習の積み重ねが偉業へと実を結んだことを多くの報道等で讃賛していただき、勇気と自信を抱くことができ、有り難く思います。また、文化部の全国大会での活躍なども大高の誇りと活力となり、その後に続いた体育祭や五教祭(文化祭)での生徒たちの躍動にも繋がっていました。

体育祭・五教祭では、若き溢れるはつらつとした大高生の勇姿をご覧いただき、大きな感動と元気を伝えることができたと思っています。また、生徒たちの演技や鑑賞態度に大高生のひいたきな姿勢と人を思いやる温かさを感じただけたのではないかと思います。多くの皆様のご来場に感謝申し上げます。

さて、今年は明治維新150年を迎え、幕末維新期に活躍し

た偉人や日本をリードした偉業を伝える博覧会などが各地で開催されています。当時活躍した偉人たちは、世界に遅れをとらないように日本の将来を見据えて、新しい時代を開拓し、数々の業績を成し遂げています。そして、時は流れ、明治、大正、昭和、平成と4つの年号を経て、来年には新しい年号へ変わり、日本にとって、新しい時代の幕開けを迎えるようとしています。

そのような新しい時代の到来を先駆けて、本校は今年度からSSH指定を機に新たな学びに向かう主体的で創造性のある人材育成を目指し、既に動き始めています。そのことは、先般の体育祭・五教祭でも現うことができました。生徒たちが巻えたテーマに「新たなる風 君とともに」「大高文化に新たな彩を」とあるように「新たな」をキーワードとして、大高に新たな歴史を作ろうという生徒たちの心強い意気込みが随所に見られた2次大会ではなかったかと思います。生徒たちは、自分の絆を破り、ひとまわり成長しようと新たな学びへ確実に一步を踏み出している。そして、彼らの視線は未来に向かっていることを実感でき、とても嬉しく思ったのです。

明治維新期の若者が世界を見て活躍を遂げていましたが、今の若者には、さらに未来を見て活躍して欲しいと願いたいところです。

大高は、飛躍の秋を迎えます。3年生は受験に向け全力を投じ入し、1・2年生は定期考査や部活動の新人戦など、両道不競の実践を果たすべき時期となります。体育祭や五教祭で見せた大高生の新たな歩みにさらに磨きをかけ、それぞれの目標に向かって大きく飛躍していくことを期待しているところです。

1年生学習合宿

7月24日（火）から4日間、島原市で学習合宿を行いました。1日10時間の学習、また、仲間との集団生活を通して、学習意欲の向上、学習習慣の定着だけでなく、他に対する配慮の大切さなども再確認するよい機会になったようです。家政科も含めて、300名弱での実施でしたが、眠気と悪戯苦悶する姿や学習に没頭する姿、質問教室で熱心に耳を傾ける姿などが非常に印象的でした。ここでの経験を2学期以降の生活にどのように活かすかを意識して1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



3年生学習合宿

7月29日（土）から7日間、雲仙の有名ホテルにて学習合宿を行いました。非常的な環境で1日に10時間越える自學を行うことで、生徒は受験に向けての意識をこれまで以上に高めたようです。学習に没頭する姿や質問教室で先生方の話に熱心に耳を傾ける姿が、非常に印象的でした。合宿は終わりましたが、これからも3年生一丸となって、進路実現に向けて努力し続けてほしいと思います。



数理探究科活動報告

■研究所訪問

7/17(火) 1年生数理探究科は、大村市内にある県環境保健研究センター、県工業技術センターを訪問しました。環境保健センターでは、溶存酸素測定の実習を行い、県内の水質検査の一環を体験しました。工業技術センターでは、IoTに関する最新の研究について講義を受け、3Dや高速度カメラ測定装置、AIによるロボット技術などを見学しました。長崎県の環境衛生、産業発展のために活躍しているそれぞれの分野の研究者の方々と直接お話をでき、進路について考える貴重な機会になりました。



■長崎県立大学高大連携理科実験

8/24(金) 数理探究科2年生は、長崎県立大学看護栄養学部で理科実験を受けました。「ラットの解剖とDNA」、「牛乳の加工と調理」の2班に分かれ実験を行いました。ラット班では、命の尊さを感じつつ、体内的内部構造を真剣に観察し、また牛乳班では、チーズ作りの原理を学びビザなどの調理・試食をしました。生物や化学の学習が、どのように日常生活の医学や食生活に繋がっているか、4時間あまりの本格的な大学実験を通して実感することができました。



■課題研究中間発表

9/9(日) 数理探究科2年生は、現在行っている課題研究の中間発表を行いました。ポスターに研究の概要をまとめ、五教祭の観覧者や一般生徒、先生方に説明をしました。一般の方にも理解していくだけるようボスターや説明を工夫することに苦労がありました。質疑を通して、研究の未熟な点も解り、次の研究のステップに繋がりました。これをもとにして、次はアメリカ研修(12月)に向けて英語での発表準備に入ります。



スーパーサイエンスハイスクール事業報告

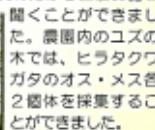
■SSH生徒研究発表会 in 神戸国際展示場

8月8日(水)、9日(木)、「SSH生徒研究発表会」が開催され、本校からは11名の生徒が参加しました。1日目は、数学者の秋山仁先生の基調講演と各校のポスター発表が行われました。2日目は、前日の審査で選出された学校による口頭発表等が行われました。本校のポスター発表は、惜しまくも口頭発表には選出されませんでしたが、参加した方々からは高校生らしい素朴な視点からの研究という評価を頂きました。



■若狭野外調査（理科部共同研究班）

7月21日(土)、22日(日)に若狭高校科学部と合同で、若狭島内におけるクワガタとアメンボに関する野外調査を実施しました。1日目は、互いの研究内容を紹介したあと、共同でクワガタ調査（雜木林）とアメンボ調査（沿岸部）を行いました。2日目は、ミカン園園とユズ園園を訪問し、生産農家の方や若狭市農業協同組合管轄指導員の方から直接お話を聞くことができました。



■地学研修講座（数理探究科2年・理科部）

7月23日(月)、九州大学より中野 神修 先生をお招きし、プレートテクトニクスで考える地殻変動の歴史および日本とアメリカ西海岸の地質の違いについての講義をして頂きました。また、生徒の質問にも丁寧に対応して頂きました。今回の講義で得た新しい知識や視点により、グランドキャニオンはもとより島の周りの当たり前に思える景色の中に、様々な気づきが生徒の中に生まれることと思われます。



平成30年度オープンスクール報告

平成30年7月25日(水)、「大村高校オープンスクール」を開催しました。

各中学校から約380名の中学生3年生と保護者の方々に参加していただき、本校体育館での全体への学校紹介や、各教科が設けたワンポイント講座での授業や家教科の実習などを通じて、大村高校のことを今まで以上に知ってもらいう良機会となりました。

参加していただきました皆様、暑い中誠にありがとうございました。



上海国際友好都市青少年サマーキャンプ

平成30年7月18日から31日にかけての2週間、上海国際友好都市青少年サマーキャンプに4名の生徒が参加しました。

世界各地の25か国から約140名の高校生が参加し、中国の文化や歴史を深く学ぶことができました。生徒たちは、日本とは異なる食文化や慣れない英語に苦戦しながらも、段々と周囲に慣れて、積極的に海外の高校生とコミュニケーションを取ろうとするなど、長崎県の代表として素晴らしい成長を見せてくださいました。様々な国との仲間たちと交流できたことで、考え方の多様さや世界の広さを目の当たりにし、よい経験となったようです。この体験を活かし、さらなる活躍を期待しています。



体育祭～大志創生～

新たなる風 君とともに

総合優勝 緑組団長 朝長 雅生

連日不安な天気が続いた中、当日は天気に恵まれ最高に熱い体育祭をすることができました。大高生全員が盛り上がり、そして晴れた1日でした。伝統ある体育祭の中に新しい形式の解説式を企画し、今までとは違う「新たな風」が大村高校に吹いたと思います。その風が今年を越え来年へ、またその次へと強く吹き継続してほしいと思います。そして、生徒一人ひとりが帆を張り、その風とともに前へ進んでいって欲しいと思います。大村高校に吹き始めたこの風は消えることなく吹き続ける！



五教祭～十人十色～

～大高文化に新たな彩を～

五教祭生徒実行委員長 生田 琳奈（千緑中出身）

今年の五教祭はテーマである「十人十色～大高文化に新たな彩を～」のもとに、文化部や学級、学科などのそれぞれの持っている色を表現し五教祭を作り上げました。それぞれが作り上げた一つ一つの出し物には、部活動や学級の想いがこめられ、いろんな色がこの五教祭で繋がるおもてなしです。私は不慣れな部分もありましたが、奥底にいるからも生徒会のみなさんや生徒のみなさんの力を借りて、今年も良い五教祭を作り上げることができて本当に良かったです。そして、そんな五教祭に携わることができて嬉しかったです。みなさんはこの五教祭で新たな「いろ」を見つけることができましたか？もし、この五教祭をきっかけに、みなさんが新たな「いろ」を見つけることができたのであれば幸いです。



平成30年度 九州高等学校体育大会の結果

〈漕艇部〉

女子舵手付クォドルブル

第1位 前田侑里（玖島中） 江口未来（大村中）

山崎明音（西大村中）

芦塚文香（西大村中） 内山 葵（玖島中）

女子ダブルスカル

第2位 橋口莉胡（玖島中） 石田麗奈（大村中）

〈陸上部〉

男子1.10m ハードル

第3位 横尾尽志（桜が原中）

クイズも全国レベル！

本校の川口直哉くん（郡中出身）、吉原大輔くん（大村中出身）、中島卓太郎くん（千緑中出身）の3名が県予選を勝ち抜き、8月15日（水）に第38回全国高等学校クイズ選手権に参加しました。全国の高校生とクイズバトルをすることで、良い刺激を受けてきたようです。応援ありがとうございました！

平成30年度 体育祭



平成30年度 五教祭